

法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

古今謡曲総覧(上)

著者	西野 春雄
雑誌名	能楽研究 : 能楽研究所紀要
巻	17
ページ	59-88
発行年	1993-03-30
URL	http://hdl.handle.net/10114/00020437

古今謡曲総覧（上）

西野 春雄

はじめに

現在、五流の現行演目は二百五十番前後であるが、室町時代から現代に及ぶ六百五十余年の間に創作された謡曲の総数は三千番を下らず、詞章が現存するものだけでも二千七百余種に上る。謡曲を歴史的に鳥瞰しようとすれば、現行曲はもとより、その十倍の廃絶曲も加えた現存謡曲の総体を把握することが必須であり、解題や辞典の類が不可欠なのであるが、廃絶曲まで網羅した解題は、丸岡桂の先駆的研究である『古今謡曲解題』（大正八年十二月、観世流改訂本刊行会）以外にはない。丸岡桂は、私財を投じて、写本と刊本とを問わず、伝わる所の諸流謡曲本及び諸名寄（曲名集）を蒐集し、それに基づいた古今謡曲の曲名を網羅せんと企て、その本文の伝わるものはいちいち梗概を記し、また古書に記録あるものはことごとく摘録して、仮に謡曲総覧と名付けた謡曲解題集十巻を完成させ、一冊の書物にして能界に提供したいと考えていた。しかし、あまりにも浩瀚なため刊行に至らぬ間に、病いに仆れ、大正八年二月十二日、業なかばにして早逝したのであった。行年わずかに四十二歳。何という短い生涯であらう。その遺稿を『謡

曲界』編輯部の安藤東庵が整理して刊行したのが『古今謡曲解題』である。

同書は「本文の完備せる古曲及び新作謡曲」八百三十二番を中心とした解題であるが（謡物についても言及し、不明な曲名などについての考察もあるが、丸岡桂の調査・研究による現存完曲は八百三十二番で、当時の研究を物語る）、その後、主として石田元季・高安吸江・横山杢人・江島伊兵衛・斎藤香村・田中允氏らによって、曲名だけが知られていた曲の本文の発見など新資料の発見があいついだが、総計千六百余種の廃絶曲、及び百五十余種に上る明治以降の新作曲を網羅した解題はまだ生まれていない。こうした作業がいかに困難であるかを物語っている。

そのなかにあつて指針となるのは、田中允氏が精力的に発表し続けている『番外謡曲』正・続（古典文庫、昭和二十五・二十七年）、『未刊謡曲集』一―三十一（古典文庫、昭和三十八―五十五年）、『未刊謡曲集』続一―十（昭和六十二年刊行中）で、そこに示された書誌的事項を中心とする解説が唯一と言っても過言ではない。田中允氏が調査・報告された作品の数は異本まで含め、現在、千九百九十二番を数えるが、引き続き報告・紹介を予定しておられる曲はあと百番ほどはあるという。

筆者も田中允氏の驥尾に付して、これまで現存謡曲の発掘・蒐集・調査に努めているが、丸岡桂の大著『古今謡曲解題』の補訂を担当した縁もあつて（昭和五十九年二月、古今謡曲解題刊行会刊）、常々、同書の精神を継承・発展させた新しい「謡曲解題」を作りたいと念願し、これまで準備を進めてきた。

現存する能本と関連資料を蒐集・調査・読破して、同名異曲や異名同曲、同材異曲・同材類曲・同工異曲などを弁別し、各曲を主題や題材、及び主人公・副主人公などを勘案した内容別に分類して、古今の謡曲が容易に検索できるようにしたいと考えたのである。各曲について、登場人物・時・所・梗概・本文の所在・作者・演能記録・備考を簡潔に記した解題の作成を進めてきた。『古今謡曲解題』補訂版に新たに加えた「古今謡曲一覧」や「明治以後新作謡

曲」や、本紀要に発表した「享保前後の新作曲——近世謡曲史考——」（第七号）、「近代前期の新作謡曲——近代謡曲史稿——」（第九号）、「能謡同名異曲考（二）」（第十四号）、および『宝生』平成二年五月号から連載中の「佚曲再検」などが、そのささやかな成果であるが、全体の完成までにはもう少し時間がかかる。そこで、まず、今回は、基礎となる分類と総曲名を提示して、二千七百余種を数える古今の謡曲が鳥瞰できるようにしたいと考えた。そして関心ある方々の閲覧に供し、洩れた曲や不明な曲について御教示を乞い、近い将来、発表を予定している『新古今謡曲解題』（仮称）に役立てたいと願っている。

分類の基本方針

分類の基本構想は『古今謡曲解題』に準じつつ、さらに増補し、新しい章や節を立てた。同書の最大の独創は、古今の謡曲を、主人公・副主人公、及び主題や題材等を総合した内容別に類別した点にある。生前、著者が『謡曲界』の大正六年五・七月号に発表した「謡曲曲名集」のうちの「本文の完備せる古曲及新作謡曲」によって、その大要を示すと、次の通りである。

本文の完備せる古曲及新作謡曲

- （一） 古史及び古人を題材となせる曲（歴史及び人物の雑）
- （二） 高僧及び聖賢事蹟
- （三） 歌人附俊秀事蹟

- (四) 武人事蹟
- (五) 仇討事蹟
- (六) 世話巷説に基くもの
- (七) 美人伝説附小説中の美人譚
- (八) 社寺神仏を主題とせる曲(西野注、国別に配列)
- (九) 天仙鬼畜譚
- (十) 精魂を主題とせる曲
- (十一) 名勝伝説
- (十二) 祝言の曲
- (十三) 明治大正時事の新作

『古今謡曲解題』では各項目がさらに細分類されている。単に五十音順やいろは順に配列するのではなく、主人公・主題・題材等を勘案して分類したのは画期的なことだった。こうした分類とその命名の背景には、著者の、明治新派和歌の歌人としての豊かな詞藻と、古典に対する深い造詣(著者は義弟の松下大三郎と『国文大観』全十巻を編纂している)などが指摘されると思うが、これによって我々は、小野小町に取材した曲にはどのような作品があるか、和泉式部関係の曲は、源義経は、仇討ちは、神霊や精・天仙は、恋いや稚児物語は、郷里の名勝伝説は、明治・大正の時事はなどと、興味のおもむくまま、たちどころにその謡曲を知ることができるし、類曲の比較も容易になった。巻末に索引も完備しているので検索も容易である。同書の神髄もここにあり、本研究の主目的もここにある。

しかし、八百三十二種について分類した大正時代と違って、現在は謡曲の数も二千七百余种に及ぶので、分類自体もかなり広がる。その一端を示せば、同書の「第三 歌人及俊秀」の項では、

小野小町・在原業平・檜垣の女・紀貫之・紫式部・和泉式部・式子内親王・小侍従・西行法師・楽舞・雑

であったが、本稿では、さらに、衣通姫・額田王・柿本人麿・山辺赤人・猿丸大夫・惟喬親王・黒主・実方・公任・能因・小大進・清少納言・兼盛・顯昭・俊成・定家・為家・為兼・阿仏尼・源実朝・兼好法師・東常縁などの歌人を加えたほかに、宗祇・兼載・貞徳・芭蕉・加賀の千代など、連歌・俳諧師をも立項することができた。さらに明治・大正の時事にも数十曲をあらたに加え、また第二次世界大戦の「忠霊」や「原爆」、あるいは「無明の井」のような脳死問題を扱った新作など、昭和の時事・事件をも加えることができた。そのほか江戸時代に、好事家によって試作された夥しい戯作的謡曲が次々と発見され、一方では屈原・張文成など中国の詩人たちに取材した曲もあり、なかにはクレオパトラなどのように古代ギリシャ・エジプトの佳人や、「鷹の泉」「鷹姫」「鷹井」など北欧の伝説に取材した作品も生まれている。能の大成者である世阿弥に取材した新作も数曲あり、能・謡曲は時代を映す鏡として、そのカバーする範囲は相当に広がり、能・謡曲が描く世界は以前にもまして、深く、かつ広くなったのである。

また、妄執物の「雲林院」甲に対し、遊士物の「雲林院」乙のように、能には同名異曲が少なくないが、こうした同名異曲に甲・乙(丙・丁…)を付して、その違いを明確に弁別したのも『古今謡曲解題』が初めてであるが、本稿でもこれを踏襲した。また、注意すべき古称・別称・異表記の類も掲出することにした。なお、数は少ないが「昔千手」や「右馬允」「白髪」などのように、散佚完曲の一部と判断される詞章が謡物や間狂言に残っている曲については、新発見を期待し、参考として「*」を付して掲出した場合もある。

古今謡曲総覧

第一 古代史及び古人

一 日本古代史

- 1 素盞鳴尊 大蛇 御崎(十羅刹・叢雲甲) 叢雲乙 武塔天神(祇園甲) 祇園丙
- 2 彦火々出見尊 玉井 海の幸
- 3 豊玉姫 鵜羽(鷗鷯羽)
- 4 神功皇后・豊姫 異国退治 三韓 太平楽 玉島(玉島川・鮎・袖)
- 5 日本武尊 熱田乙
- 6 住吉仲皇子 鈴落
- 7 弘計億計 弘計億計(弘計・二帝出世)
- 8 継体天皇・照日前 花筐(花形見)
- 9 聖武天皇・光明皇后 南都炎上 光明皇后
- 10 延喜帝 延喜(延喜帝)

二 中国・天竺古代史

- 1 貨狄 涿鹿

2 大施太子 大施太子(財世太子)
3 海経太子 海経太子

三 古人

1 王仁 難波(難波梅)

2 呉織・綾織 呉服(綾織) 二村山

3 吉備真備 吉備真備(吉備・野馬台) 吉備(仲磨?)

4 王辰爾 烏羽 烏羽玉

5 上宮太子(聖徳太子) 守屋(守屋太子・守屋逆臣) 信貴山 上宮太子甲 上宮太子乙 太子(四天

王寺) 沈水香 法隆寺(花揃・立花伝) 夢殿 秦川勝

6 葛城尊 鞠の勲(槻の鞠)

7 中臣鎌足 鎌倉山(鎌足) 大職冠 上付

8 浄見原皇子 五節(御節) 国栖

9 大友皇子 黒血川

10 麻統王 伊良虞

11 小野の美沙子 武蔵塚

12 橘諸兄 橘乙

13 和気清麻呂 清丸 清麻呂

14 坂上田村麿

田村 現在田村

15 源融

融(塩竈甲)

16 菅原道真

雷電(妻戸甲)

来殿(妻戸乙)

菅丞相

径山寺

渡唐天神

一夜天神(星天神)

柘榴天神

苾芻の関

鳥の跡

*白髪

17 俵藤太

鐘引(引鐘・鐘引前・園城寺・新三井寺)

百足(俵藤太・秀郷)

18 藤原忠文

忠文

19 高倉院

紅葉(高倉院)

20 周の武王

武王 軍武王

21 蜀の盧生

邯鄲(邯鄲枕)

22 漢の劉季皇帝

松竹甲(劉季皇帝・高祖劉陣・唐松竹)

23 鍾馗

鍾馗 皇帝(御惱楊貴妃・明王鏡・玄宗)

位山

第二 高僧・聖賢

一 高僧

1 行基

行基(家原寺)

2 良弁

朗弁

3 行賀

三輪童子(行賀)

4 空海

伊呂波 渡唐空海

熱田明神

神泉苑

- 5 空也
空也(空也上人・赤間空也・筑紫空也・虚盲目) 愛宕空也(月の輪)
- 6 性空
素盞桜(素拝桜・素拝・そさ・書写性空・書写桜) 室住(室積)
- 7 自然居士とその弟子
自然居士(自然物狂) 華自然居士 婿入自然居士 東岸居士 西岸居士
- 8 良忍
融通鞍馬(融通)
- 9 明恵
春日龍神(明恵上人・龍神春日・三笠龍神乙)
- 10 解脱
堀兼の井(堀兼) 解脱上人
- 11 源空(法然)
選択集 上人流(源空流・神崎・上人弘) 誕生寺 兼実(一枚起請甲) 一枚起請乙
黒谷甲 黒谷乙 片目川 足引 桜之池 桜が池 誕生棕 重蓮 重連坊
鬼骨寺(鬼神往生・鬼神往来) 法然 北白川 室津 立禪寺
- 12 慈覚大師
慈覚甲(慈覚大師・十夜・亀甲鎧) 武俊(慈覚乙)
- 13 一遍
一遍上人 歌合遊行 隼人の瀬戸
- 14 寂然
御菩薩(廿五菩薩)
- 15 親鸞
板敷山甲 板敷山乙 板敷山丙 鳥屋野 親鸞甲 親鸞乙 親鸞丙
- 16 日蓮
龍の口甲 龍の口乙 星降梅(星下・星降・現在星降甲) 明星山(依智・越の梅・星降乙)
- 龍口寺 鵜飼 佐渡の日蓮 法難
- 17 道元
道元和尚
- 18 一休
一休
- 19 大燈国師
夢一字

- 20 善信 平太郎(平太)
- 21 青衣女人 青衣女人
- 22 顯如 顯如(顯如上人)
- 23 釈迦如来 法華会
- 24 目蓮尊者 目蓮
- 25 三蔵法師 大般若(三蔵・玄奘) 三蔵法師
- 26 布袋和尚 布袋
- 27 維摩居士 維摩(維摩居士)
- 28 鑑真和尚 鑑真和尚

二 その他の宗教者

- 仲算 奥院(木食) 浄蔵貴所(臥塚・青塚) 九品浄土 欣求浄土(九品) 山住 戻橋甲
- 御法 鳥辺野之露(白露) 等化身 留春 道家心 興福院 国阿上人 元三大師
- 善導寺 達磨寺甲 とみの小川 棟渡 入定 破来頓等 首途 寛朝 興教 炭火
- 橋 箸塚 天理教祖 御蔭命 御蔭雨 高天原(宗忠) 徳山 法蔵比丘 霊昭女
- 竈之神 土僧

三 聖賢・遊士

老子(長耳・李老君) 祚国(佐国) 堯舜(重花) 許由(巢父) 介之推

四 キリスト教

使徒パウロ 復活 復活のキリスト 聖フランシス 安土の聖母 如安

第三 歌人及び俊秀

一 歌人

1 衣通姫 玉津島(吹上乙) 衣通姫(吹上甲・和歌吹上)

2 額田王 金野(あきの)

3 柿本人麿 人丸西行 人丸甲(人麿・人麿西行) 人丸乙 人丸丙(人麻呂) 人丸塚

4 山辺赤人 板屋の霰

5 家持 家持甲(藤原家持) 家持乙

6 猿丸大夫 田名上(田上・猿丸大夫)

7 惟喬親王 渚桜(渚の院?)

8 在原業平 雲林院甲(世阿弥本) 雲林院乙 業平 小塩(小原野花見) 昔男 武蔵塚 東業

平 恋衣甲(こひ衣) 天川 蔦の細道 双子なりひら

9 良峯宗貞(遍昭) 宗貞(冠)

10 大伴黒主 黒主甲 黒主乙 志賀(大伴・黒主・志賀黒主)

11 小野小町

富士見小町(富士詣小町)

草紙洗小町(草子洗)

雲林院小町

高安小町

鸚鵡小町(鸚

鵠返し)

関寺小町(関寺)

卒都婆小町(小町・卒都婆)

山本小町

清水小町(滝見小

町)

通小町(四位少将)

磯上小町

市原小町

音羽小町

絵馬小町

倂小町(阿

倍野小町)

時雨小町

玉津島小町

魂祭小町

花小町

幽霊小町

夢見小町(仮

寝小町・不寝小町)

芳野小町

有明小町

文殻小町

12 紀貫之

蟻通

五輪碎(明石浦・ほのぼのと明石浦)

吉野甲(木守・吉野貫之)

13 檜垣の女

檜垣

釣瓶(現在檜垣)

14 藤原実方

実方(立元)

実方(金春信高復曲本)

実方(観世栄夫復曲予定本)

阿古屋松甲

阿古屋

恥川(慚川・千歳山)

滴森

15 平兼盛

似せ菊(偽菊・贋菊)

16 藤原公任

公任甲(朗詠谷)

17 能因法師

玉川乙

姉葉の橋

18 小大進

小大進

19 紫式部

源氏供養

紫野甲

21 清少納言

雪山

玉敷の雪

清水桜

22 和泉式部及び息女

和泉式部甲(稻荷・稻荷山)

和泉式部乙(書写詣・書写)

和泉式部丙(法華竹・歌藁

師)

貴船(和泉式部丁)

花盗人(花偷人・花折・保昌・花の縁)

鳴門

誓願寺

紙屋川

道命法師

小式部甲

小式部乙

- 23 壬生忠見 忠見
- 24 小侍従 待宵小侍従甲(待宵) 月見(待宵小侍従乙) 小侍従
- 25 西行法師 初瀬西行甲 初瀬西行乙 松山天狗(松山・讃岐院甲・讃岐松山・松山西行・新院) 西
行桜 西行西住 江口 現在江口 雨月 新嶋立沢(嶋立沢乙) 明石西行 大
原西行 銀猫西行 西行塚 西行物狂(大峯西行) 片岡 谷川西行 露の月
庭鳥西行 柳西行 *吉野西行
- 26 式子内親王 定家桜 定家(定家葛) 式子内親王 小倉御幸(花鳥・一字題・百人一首)
- 27 藤原顕昭 顕昭(豊明)
- 28 鴨長明 鴨長明
- 29 藤原俊成 九十賀(俊成九十賀) 松島俊成
- 30 藤原定家 明静(明静定家) 定家桜 小倉山
- 31 藤原為家 為家
- 32 京極為兼 為兼(静覚)
- 33 阿仏尼 阿仏
- 34 源実朝 実朝甲(高浜虚子作) 実朝乙(土岐善麿作)
- 35 兼好法師 徒然草 兼好(兼好法師甲) 兼好法師乙(徒然草) 双びの岡(兼好・つれづれ草)
御室(御室八景) 兼好塚(種尾) 兼好桜 白うるり 土大根
- 36 東常縁 常縁(栗栖桜甲) 栗栖桜乙(復曲本)

37 その他

龍門寺 うたゝの橋 越部 皿山 須磨行平 太刀造江

二 連歌・俳諧師

1 飯尾宗祇 宗祇甲 宗祇乙 月の秋 細谷川

2 猪苗代兼載 兼載桜

3 松永貞徳 花咲(貞徳・妙心居士)

4 松尾芭蕉 塚詣 桃青 奥の細道 義仲寺 幻住庵 象潟 嵯峨の雨

5 加賀の千代 加賀の千代女(朝顔)

三 楽舞・兵法・鞠・花・香・鍛冶・医術・算法・心学他

1 楽舞・楽器 絃上(玄上・玄象・師長) 三の船(大堰川・経信・西川御幸) 輪管 乙平 富士太鼓

梅枝 富士浅間 時秋(加茂次郎・義光) 推坂 泗浜石 須磨笛 弹琴 びわ弾

びは盲僧 ふか草の庵 馬融甲 馬融乙 天鼓

2 兵法・蹴鞠 御駒乗(駒乗・善御・村上・丸馬) 逸馬おくり 騎射 武蔵野 鞠物狂(鞠) 外郎 柏

木右衛門

3 茶・花・香 利休 茶経 茶翁 芳茗歌 悟機菴 紅葉合 灌園房 黒谷詣(名香) 蘭奢

待

4 鍛冶・工匠 小鍛冶(小狐) 小鍛冶前 太刀造 飛驒工 五重塔

5 医術・本草 仲遠(脉論甲・医教) 丹溪問答(脉論乙) 十四経 薬性論 人参 朱丹溪甲

朱丹溪乙 古井

6 算術・占方 竹弄(算法) 清明 馳殿火 鳥羽の沙汰

7 絵画・書 筆捨松 画図 大雅(池の大雅) 武隈 神光院 鳥の跡

8 心学・儒学他 祇園詣 心学 方寸山 麋の端 駅路 小学 閑居 孔子一口 宮懸楽

野草論

四 能・平家・幸若・歌舞伎

1 能(乱舞) 梁塵 市ヶ谷物狂 名尽し(名尽し謡)

2 世阿弥 世阿弥 世阿望憶 世阿弥再見 佐渡 雨乞世阿弥 面塚

3 平家・幸若 真都(教経乙) 仁慶 辛崎

4 浄瑠璃・歌舞伎 歌舞伎(名古屋甲) 彦作(昔歌舞伎) 無間之鐘 和唐内 国姓爺 曾根崎

鏡山

五 雑

1 風流・数寄者 秋仲 花鳥風月 東山 宮城野 和国(倭国) 雪月花 相坂 笠附 閑翁

春の夜 四町 助国

2 遊戯 小磨(舞独楽)

3 国学者・農政家他 宣長 二宮

4 童話 竹取翁 なよたけ物語 舌切雀

5 近代の詩人 智恵子抄

六 中国の詩人文人

1 屈原 屈原甲 屈原乙

2 陶淵明 三笑(陶淵明甲) 陶淵明乙

3 蘇東坡 赤壁

4 張文成 張文成(遊仙窟)

5 朱晦庵 紫陽山

6 戴安道 戴安道

第四 武人

一 源頼光及びその郎等

大江山(酒吞童子・朱点童子・現在酒吞童子) 幽霊酒吞童子甲(千丈嶽) 幽霊酒吞童子乙

語酒吞童子 霊童子(幽霊童子) 羅生門(綱) *綱 姫切(川蟬・川蟬綱) 土蜘蛛(土蜘蛛)

鬼同丸 朝霞 小鳥 塩がまあそび 戻橋乙

二 前九年の役・後三年の役

帰雁（飛雁） 貞任（衣川甲） 衣の楯 影山（陰山・景山） 信夫乙（幽霊信夫・信夫景利・信夫 景時・信夫太郎） 安倍宗任 白はたのみね 名古曾 *義家信夫

三 保元・平治の乱

義朝 為朝甲 為朝乙 鎌田甲 鎌田乙（菊若） 朝長（進朝長） 悪源太（義平・兵擲）
石山義平 材木義平（材木・材木悪源太・材木頂・材木源太） 金王桜 金王丸（内海金王）
金王塚 讃岐院 滝詣 遠矢源太 安楽川女院

四 鬼界島の流人

卒都婆流（康頼甲・蘇武） 康頼乙 俊寛（俊寛僧都・鬼界島丙・法勝寺執行） 成経 有王甲
有王乙 硫黄島甲（鬼界島甲） 文僧都（鬼界島乙） 硫黄島乙 いわうが島 成経 島の別れ 和哥の浦なみ

五 源頼政及びその与党

鶴（幽霊鶴） 現在鶴（現世鶴） 頼政（源三位・宇治頼政） 御輿振 龍崎（東頼政・渡り殿）
仲綱 信連（長谷部信連・長兵衛尉・長兵衛） 信連合戦 福井滝口（馬乞滝口） 一来法師
（一来・宇治橋・浄明坊） 信貫合戦 籬が島

六 木曾義仲及びその一党

木曾願書甲(埴生・埴生八幡) 木曾(木曾願書乙) 太刀堀(太刀堀葵・葵・俱利伽羅落・葵巴)
 兼平 巴 現在巴甲(今生巴甲) 現在巴乙(今生巴乙) 御台巴(形見巴・記念巴・切合巴)
 筐巴(扇巴) 衣潜巴 いさめ巴 矢橋女 清水冠者 梅津が谷 小熊太郎 あはうみ舟
 柴舟 無庵上人 覚明 義明

七 平家一門及びその郎等愛妾

- 1 平忠盛 祇園沙汰(祇園乙)
- 2 平清盛 清盛 築島(兵庫築島) 髯切
- 3 平重盛 内府(教訓・教訓状・浄海・小松) 重盛(飯田巽作)
- 4 平維盛 維盛(惟盛) 高野卷
- 5 平資盛 赤間が関
- 6 平清経 清経
- 7 平師盛 師盛
- 8 平知盛 淀潜(早友) 西国廻
- 9 平知章 知章
- 10 平重衡 重衡(笠卒都婆・重衡桜・卒都婆重衡・幽霊重衡・春日野) 侍従重衡(侍従) 鑪重衡
- 11 平知忠 知忠

- 12 平経盛 経盛 すま琴
- 13 平経政 経政(経正) 御室経正 竹生島経正
- 14 平敦盛 敦盛(草刈敦盛・笛敦盛) 現在敦盛 形見敦盛(筐敦盛) 生田敦盛(生田) 高野敦盛(蓮生)
雀森 一夜あつもり
- 15 平通盛 通盛(通盛小宰相事)
- 16 平教経 教経甲(先帝) 真都(教経乙 注第三の四の3にも重出した)
- 17 平忠度 忠度(薩摩守) 現在忠度甲 現在忠度乙 現在忠度丙 俊成忠度 生田忠度 志賀
忠度 草刈忠度 名所忠度
- 18 建礼門院・阿波内侍 大原御幸(小原御幸) 大原入(寂光院)
- 19 二位尼 二位尼(二位殿) 壇之浦
- 20 斎藤実盛 実盛(篠原実盛・篠原) 現在実盛 実検実盛
- 21 主馬判官盛久 盛久 生捕盛久 仏力判官
- 22 楊賀 楊賀(陽嘉・陽賀)
- 23 伊東祐氏 祐氏
- 24 景清及び息女 大仏供養 景清 籠景清 仏力景清 谷物狂
- 25 熊野 熊野(湯谷・遊屋)
- 26 千手前 千手(千寿乙) *千手甲 *煙見千手 *昔千手
- 27 その他 菊王 六波羅 鬨腰尼 つくしの浦風 どくろ物狂 松尾浦 松王どうじ 古郷

八 源行家及び源範頼

1 源行家 行家

2 源範頼 範頼(乗頼・教頼)

九 源義経及びその与党

1 常盤御前 常盤問答甲 常盤問答乙 常盤 山中常盤 くらま入

2 源義経(牛若丸) 愛宕牛若 鞍馬天狗(沙那王) 鞍馬(鞍馬源氏) 湛海 鬼一 橋弁慶 橋弁

慶前(笛の巻) 烏帽子折(東下り・現在熊坂乙) 現在熊坂甲(長範・熊坂乙) 熊坂甲(幽

霊熊坂) 関原与一(関原乙) 鶴若 二度懸甲(梶原二度懸) 坂落甲 坂落乙 岩

石おとし 二度懸乙 八島(屋島・義経甲) 熊手判官(八島判官乙・熊手八島) 衣川甲

衣川乙 義経乙(高館甲) 高館乙 野口判官(野口・野口天狗・教信) 白旗(白旗明神・

白旗宮?) 桜間(桜場・義遠) 老馬

3 武蔵坊弁慶 正尊(土佐坊・土佐正尊・堀河夜討) 芦屋弁慶(四国落甲) 船弁慶 安宅(安宅判官)

笈搜(富樫笈搜) 北国落(大津次郎) 摂待(接待) 沼搜甲 沼搜乙 亀破坂甲 高

館弁慶 須磨寺 かづらき弁慶

4 那須与一 母衣甲(那須与一甲・母衣甲・玉虫) 母衣乙(那須・母衣那須)

- 5 佐藤嗣信 嗣信甲 嗣信乙 屋島寺
 - 6 佐藤忠信 忠信(空腹・吉野忠信・櫓忠信) 愛寿忠信(愛寿)
 - 7 浅利与一 遠矢
 - 8 曼荼羅三位 吉野三位(芳野三位)
 - 9 吉水坊 吉水(岡崎乙)
 - 10 鈴木三郎 鈴木(語鈴木・御前鈴木・重家・鱸・生捕鈴木・鈴木三郎・繩鈴木) 追懸鈴木(追掛鈴木甲) 追掛鈴木乙
 - 11 亀井 亀井
 - 12 駿河次郎清重 清重 幽霊清重
 - 13 河原太郎高直 河原太郎(高直)
 - 14 泉三郎 錦戸(和泉三郎甲) いづみの三郎乙
 - 15 静御前 吉野静(芳野閑・吉野司土・静) 吉野静前 法事静 二人静(二人閑・二人司土・静) 鶴岡甲(鶴岡閑) 安達静(若宮静・御前静・大夫鼓・安達三郎・静) 卯花重
 - 16 吉次 吉次(信高・吉次信高)
 - 17 藤原秀衡 秀衡
 - 18 その他 越路の閑
- 十 源頼朝及びその一党

- 1 源頼朝 雪頼朝(雪隠) 九穴(九穴玉・鶴ヶ岡詣) 躍鱸
- 2 真田与市 真田(石橋山・与市義貞・文蔵・俣野)
- 3 土肥実平 空隠 七騎落
- 4 梶原景季 馬乞佐々木(佐々木・馬乞・駒与佐々木・馬争・駒競・するすみいけずき) 景季(現在簾・梅源太) 簾(簾梅) 梶原座敷論(梶原・梶原座論・座敷論・座論) うき島が原 二度のかけ
- 5 佐々木盛綱 藤戸(藤渡)
- 6 三浦義澄 東夷
- 7 北条時政 鱗形(いろこがた) 鎧 火鉢(鬼丸) 夢占
- 8 秩父重忠 橋供養(相模川) 秩父甲 秩父乙
- 9 泉小次郎 犀(犀川・泉小次郎甲) 親衡(泉・泉小次郎乙・籠破乙)
- 10 朝比奈義秀及び和田合戦 朝比奈(門破) 追掛朝比奈(朝盛) 姫路朝比奈 和田甲
- 11 秩父十郎重光 狩場重光
- 12 東光坊 鞍馬判官 東光坊
- 13 その他 笠掛 唐絲 国治 鹿がり 直家
- 14 源実朝 (実朝については歌人の項に立項した)

十一 文覚上人

恋塚甲 恋塚乙 滝籠文覚(文覚滝籠・文覚滝詣・那智文覚) 滝文学 人形(人形文覚・伊

豆文覚

文覚（文学・六代・六代文覚・鞭文覚・文覚六代・局六代・乳母六代）

勧進文覚甲 勧

進文覚乙

斎藤五（六代・斎藤五六代）

荒行文学 はやうち文学

文学流 恋塚寺

十二 承久の乱

承久（千葉の介）

光季（承久退治） 高辻（幽霊光季）

治時（秦・秦治時・隠岐）

世良田

篁（小野篁）

佐渡詣

十三 最明寺時頼・時宗

鉢木

浦上（浦下部・浦壁）

藤栄（藤永）

小夜砧

斎藤丸（斎藤・幸藤丸）

ねゝ仏

時宗

英断時宗

蒙古襲来

元寇

十四 元弘の変

高德甲

高德乙

小夜衣（高貞甲）

大塔宮甲

大塔宮乙（堂本政樹作）

般若櫃

十津川

村田

太刀沈

俊基

義興

名古屋乙（高家）

童堂（和老堂）

金が崎

きく川

篠塚

魂静

南都落

和田乙

十五 楠木氏及び南朝

鳳駕迎

湊川

楠露（楠の木）

桜井甲

桜井乙

桜井丙

桜井駅

菊水甲（正成）

菊水乙 花櫓(楠花櫓) 桜切 楠(千早・追善楠甲) 追善楠乙(大森正成・大森楠) 幽
 霊楠 楠正成甲 楠正成乙(湊川正成) 兵庫楠 杉本楠 なはて楠 恩地 むこの梅
 かるも川 花宴(盛長) 談天門院 正行 哥念仏
 弁内侍 大森彦七 賀名生 忠顯 芳野行幸 船上山 南帝(加納) 笠置山(笠
 置・藤房) 新田(義助)

十六 足利氏 篠村(篠村願書) 銀閣寺

十七 応仁の乱 赤間関

十八 織田氏 無辺 桶狭(おけはざま)

十九 豊臣氏及びその一党 付朝鮮出兵

高野参詣(高野詣) 吉野詣(吉野花見) 明智討 北条(氏政) 柴田(柴田討・勝家) 豊
 国詣甲 豊国詣乙 鶴岡乙(明治の新作) 衰豊臣 醍醐乙 秀顯(大坂真田・真田・幸
 村?) 秀次 秀頼 大坂落居 行幸(聚楽) 中尾(清正?) 加藤清正 虎取

廿一 雜【中国・天竺】

百合草若(百合草若大臣) 緑丸 真鳥甲 紅葉狩(維茂・余五將軍) 清時田村(清時甲・清時田村・田村清時) 清時乙 現在千方 呪咀顯光 満仲(仲光・美女御前) 甘糟(甘糟太郎) 時有 植田(入間) 鶴次郎 軈(軈源左衛門) 權守(權頭・暇北条) 篋尺八 梅勘(梅閑) 治親(磯屋・籠破甲) 菊池(館尾・島津) 臼杵 岩瀬(清龍寺) 甘楽太夫 黒川(黒川延年) 直江(五十嵐?) 関戸(関戸早川・早川) 小林(内野合戦・氏清・桐の小林) 荒次郎 蜷川 村山(長尾) 小栗(照姫) 長卿寺(長郷寺・南部) 十戸 広基(津軽六郎) 長治(別所長治) 高重 鬼狽師 伊熊源太 佐和(熊) 一武 暗峠 上杉(難波田) 川中島甲 川中島乙 勝頼 八木 山田長政

范蠡(伍子胥・西施) 咸陽宮(秦始皇) 項羽(美人草) 四面楚歌 高祖(星・星祭・高祖星・漢高祖) 張良 浮沓張良 宝張良 智略張良 現在張良(鷲峯張良) 呂后 諸葛(諸葛孔明・諸葛亮) 関羽 会盟(卞和・蘭相如) 荊軻甲 荊軻乙 樊會 安禄山 韓信(瓜田) 石竹 桑露杉(よるべの水)

第五 仇討

一 曾我兄弟 付遊女虎 切兼曾我 調伏曾我 元服曾我 追掛時宗 和田酒盛甲 虎送(虎送曾我) 小袖曾我

第六 世話巷説

一 主 従

三社託宣

土車(善光寺物狂)

高野物狂(高野)

連獅子(政重)

武文(秦武文)

ぬれ衣

二 親 子

稲船(最上川・定世)

木賊(伏屋)

雲雀山(中将姫)

歌占(地獄廻)

住吉物狂(花園少将)

磯崎乙

浜均(浜平直)

弱法師(天霊星)

花月(果月)

逢坂物狂(逢坂・相坂盲・藁屋盲)

三 雑

安斎 内海(二人神子)

吉備津宮

千人斬(大熊川)

大聖寺(親任・那波将監)

檀風(擅風)

ともし夏虫

放下僧

*切合放下僧

望月(兜屋獅子)

盛近(湯浅)

安犬(安犬丸・小

山・笠間の能)

比良(国久・乙若)

穴戸

正儀世守

西寂(河野・河野四郎)

水鏡 方

浦(葦山・新山)

敵論

熊崎四郎

すみよし臺

荒木又右衛門

万霊和尚

百万遍

二 忠臣蔵

義士供養甲

義士供養乙

忠臣蔵

寺坂

大石

泉岳寺

松阪

夜討曾我(富士巻狩・打入曾我)

十番切甲

十番切乙

赤沢曾我

御坊曾我

禅師曾我

伏木曾我

狩場曾我(狩場祐成)

大磯甲

大磯乙(和田宴)

花見曾我甲

花見曾我乙

櫃切曾我

祝子曾我(文削曾我・形代曾我)

幽霊曾我(草刈曾我)

和田酒盛乙

酒宴曾我

出手詣曾我

対面曾我

剣曾我

箱根曾我

文削曾我

助成寺(祐成寺・高塚)

摺袈

袈(二代曾我)

円覚寺

裾野塚

待よひ

わかれの山

北野物狂 龍田物狂乙 隠岐物狂(隠岐院・隠岐院物狂) 三井寺(鐘の能) 百万(嵯峨物狂)
 狂) 島廻乙(近江物狂) 桜川(桜子) 柏崎(柏崎物狂) 更科物狂甲 飛鳥川甲 飛

鳥川乙 隅田川 唐船(祖慶官人・牛飼・牛牽きの能) 箱崎物狂(後唐船) 明州帰帆

筑紫物狂 敷地物狂(敷地・薦物狂・菅生物狂) 経書堂(家継) 不逢森(反魂香) 類仙香

丹後物狂(橋立) 笛物狂 文物狂 磯松(親知らず) 雛菊 兼元(熊野参詣・熊野参・熊

野詣) 金尾 刈萱(禿高野・高野刈萱) 刈萱(復曲改作本) 為世(水無瀬) 生贅 那

須与一(延年那須・延年那須与一乙・延年・与一) 婆相天(身売兄弟・二艘舟) 竹雪 刀(刀

の庄・石こつみ・刀殿・笈搜し甲) 松山鏡(松の山鏡) 網持(漁翁発心) 北野葛城 弓

継物狂(弓継) 更科物狂乙 文字摺(忍摺) 名立(親不知) 命々鳥 狂獅子 密語橋

(囁橋) 潮干物狂 倩女 あくた川物狂 生田物狂 岩代物狂 卯花物狂 笠取狂

女 木幡物狂 佐保川狂女 里めぐり 桜牧 すゞ木物狂 中山物狂 鳴海道心

初瀬物狂 宮路物狂 ひこの山 六角堂乙 渡会物狂 五悦 磯崎甲 磯崎丙

三兄弟 蟬丸(逆髪) 春栄 信夫甲(現在信夫・松崎・島信夫) 青柳 はかた童部

四夫婦 末松山 歌屏風(基頼) 芦刈(難波) 野中清水 木引善光寺(木引) 更級(更科・更科物

狂) 松浦物狂甲(松浦・俊貞) 博多物狂 由良物狂甲 龍田物狂甲(立田物狂) 思妻甲

(恋妻・恋草・浜田) 安の字(字売) 錦織(錦) 鳥追舟(鳥追) 籠太鼓 舟戾 横山(草

刈・治直) 藍染川(染川乙) 思妻乙 鞠(鞠物狂・けまり 注第三の四の3にも重出) 砧
 (砧の女) 槌折砧 木幡(木幡の里) 女郎花(頼風・小野頼風) 檜塚(飯代) 思出川
 舞車(美人揃) 相羽(饗庭) 禁野 水汲(地主) 銀杏森 桜の前 須磨寺 外浜
 あらい川 かは島狂女 御所物狂 汐くみ狂女 しほ路物狂 朧清水 思野花 片
 葉のすゝき からころも 手枕野 とだえのはし 難波がたり 湯原

五 孝子・節婦・貞女

1 日本 佐保川 七草(七種) 若草 多手利 身売(神原) 千手寺 今泉 馬頭涙 三人孝
 忘草 周防内侍 文割 御田植 甲冑堂 小平瀉 奈良晒 能島 初花 笛吹
 川 織姫 玉堀 ちよづるひめ 二度の童部
 2 中国 郭巨 孟宗 牛 羊 厚婦 霊昭女 弘文成 かさゝぎ 空わらべ

六 恋付稚児・男色

1 恋 綾鼓甲 綾鼓乙(土岐善麿改作) 綾鼓丙(堂本正樹作) 恋重荷(重荷) 水無月祓(六月祓・
 名越・みそぎ川) 賀茂物狂 歌舞伎(名古屋甲) 牡丹燈籠(牡丹燈・萩原) 清十郎 露
 の宮 龍田物狂 天王寺物狂 班女 野上物狂 錦木(錦塚) 形見糸繰(現在錦木)
 雷之鳥 船橋(佐野船橋) 恋草乙(恋妻・浜田・思妻・京妻) 恋松原 革袴(喜見長者)
 袖の湊 鬼物狂(髑髏物狂) 面影 形見合 唐橋 青柳 蜻蛉 花盗人 文車

七 雑

【日本】

弥子 恨塚 戻橋乙(浄蔵貴所) 時雨物狂 十市 水馴川 郭公 連理の松 霞
 ケ関甲 霞ケ関乙 桜田 根笹 朝日の紅葉 あしわけ船 あだ枕 生田女 生
 野姫 うつほ舟 片思ひ かたこひの岡 井手の女 井手の玉川 田舎三輪 妹が
 池 いもせの池 妹背山 あふの浦 おかの早蕨 雄じま おのへの前 倅の井
 風ぐるま 衣笠姫 神崎時雨 黒木うり しのびのおか すげの小笠 妻恋塚 遠
 里小野 難波月 室の屋島 枕ごひ 矢剝女 矢橋舟 由良物狂乙 よどの川はし
 わすれ水 五月雨 多摩
 2 稚児・男色 禿物狂 足引山(足引甲) 花丸 粉河寺(粉河) 恋草甲 軒端草 白菊(児ヶ淵)
 児塚 児の清水 染衣 雨夜塚 花月宴 二人児 三河千手(御室千手・児千手) 和
 光 恋衣乙(堂本正樹の新作)

浜川(宮崎) 信田(篠田) 岡崎(花小汐) 盲沙汰(もろを) 女沙汰(月岡) 園田
 守 玉取(二墳) 谷行 竈馬 東心坊 児鐘 玉簪 師都 宇治物狂 矢走鞆
 鼓 夕霧 玉泉坊 鼓望月 大原詣 松虫 餓鬼 善知鳥(烏頭・善知鳥悪知鳥)
 現在善知鳥 阿漕 堅田の漁父 鸚鵡鳥 骸骨 宝競(財競) 断腸 鷹飼 鷹尋
 常楽 白目 硯破 関原(関ヶ原行者・俊春・黒田ヶ淵) 卒都婆子 春日神子甲 春
 日神子乙 菖蒲 現在鵜飼 川瀬の岩 江のうつほ舟 公任乙(隅田川の口) 浅草

船 恋草丙 あねがさき 海士が岩 あまのたく火 有馬座頭 猪名笹原 岩氏姫
 小がね塚 馬僧 伽羅物狂 高麗婦 小姫 古狸 二荒坊 蟹蛇 十五夜塚
 髭薙 外浜念仏 千尋浜 ちつかの橋 飛鳥巖 鳥部野 ぬれごろも 野渡の翁
 浜の堂 ふじ馴姫 身すて松 村霧 持真 もろこしが原 弓削の道堯

八 雜

【中国】

郭橐駝

石竹

鸚鵡鳥

司馬溫公

象

馬頭婦人